

## 第4回砺波市庁舎整備検討委員会 議事録

■日時：令和3年8月23日（月）午後2時～午後3時30分

■会場：砺波市役所 3階小ホール

■出席者（◎は委員長）

| 氏名     | 役職等            | 団体名称等           |
|--------|----------------|-----------------|
| 朝倉 良子  | 一般公募           |                 |
| 五十嵐 正喜 | 子育て団体          | 砺波市児童クラブ連合会     |
| 池上 弘芳  | 男女協働           | 砺波市男女共同参画推進員連絡会 |
| 井上 五三男 | 自治団体           | 砺波市地区自治振興会協議会   |
| 老 健    | 福祉団体           | 砺波市社会福祉協議会      |
| 河合 要子  | 一般公募           |                 |
| 北村 憲三  | 商工団体           | 砺波商工会議所         |
| 小森 兼重  | 福祉団体           | 砺波市民生委員児童委員協議会  |
| 武田 武美  | 商工団体・地域団体      | 庄川町商工会          |
| 竹林 正宏  | 学識経験者（建築）      | 元富山県土木部営繕課長     |
| 出村 幸世  | 観光団体           | 砺波市観光協会         |
| ◎中村 和之 | 学識経験者（財政・公共経済） | 富山大学副学長 経済学部教授  |
| 原野 悦子  | 女性団体           | 砺波市女性団体連絡協議会    |
| 平井 宗壽  | 高齢者団体          | 砺波市老人クラブ連合会     |
| 吉田 快   | 教育団体           | 砺波市PTA連絡協議会     |

■欠席者 1名

五島 有恒

■市側出席者

事務局：畑企画総務部長、竹村財政課長、上田主幹、高田主幹、平田係長、佐伯主幹

■資料等

- ・次第
- ・資料1 前回までの主な意見
- ・資料2 「市庁舎整備に関する研究結果報告書」における整備パターン別の概算整備費について
- ・資料3 公有地リストについて

- ・資料4 財源について
- ・砺波市の財政状況

### (1) 中村委員長あいさつ

- ・お忙しいところ、お集まりいただき有難うございます。
- ・第2回射水市庁舎、第3回黒部市庁舎の視察をいただき、この検討会に参考としながら、引き続き、検討をよろしく願いいたします。

### (2) 資料の説明〔事務局〕

#### 資料1)

- ・前回までの主な意見について説明

#### 資料2)

- ・委員要望により、庁内研究会の結果報告書で検討された整備費用を説明

#### 資料3)

- ・委員要望により、一定規模の公有地について説明
- ・一部、借地等について説明

#### 資料4)

- ・建設費の財源内訳について説明
- ・砺波市の財政状況について説明

### (3) 質疑・意見交換

#### ●委員

学校など公共施設の統廃合が進んでいます。砺波市も公共施設再編等の計画があると思いますが、統廃合などはどのような状況ですか。また、学校など公共施設で使われなくなるようなものが、どれくらいあるのか、教えてください。

#### ●事務局

砺波市においても、少子高齢化、人口減少により、現在ある公共施設の維持が難しくなり、若い世代への負担が増加する、という問題を抱えています。平成28年（2016年）に策定した「砺波市公共施設等総合管理計画」では、公共施設を持続するためには、30年後の令和27年（2045年）までに、現在保有する施設のうち20%を削減するという目標を掲げています。策定した平成28年から、5年が経過し、今年度中に状況分析をすることになっていますが、今後も公共施設の縮減に取り組む必要があると見られます。また、施設等の統廃合については、幼稚園・保育所などについては、随時、進めているところですが、もともとの施設の規模が小さいため今回の候補地となるようなものはございませんでした。

小中学校の計画については、教育委員会のほうで、在り方検討会を立ち上げ、進めております。現時点で、結論があるような状況ではありません。

●委員

財政状況について、地方交付税の割合はどれくらいなのか。これから、地方交付税の交付額が増える傾向があるという意見も聞くが、予測等はどうなのか。

●事務局

市債に対する交付税については、割合等の規定があり、合併特例債は7割、その他のものは、種類により異なります。本市では、庁舎の建設に借り入れできるような有利な交付税はないということの説明させていただきました。

次に、交付税の今後の見通しですが、見込むことが大変難しい状況と思います。これまでの経緯からいうと、国の交付税の財源不足を補うものとして、臨時財政対策債として、財源を補ってまで配っているという状況であり、将来、増やせるかということは、財源の問題もあり難しいところです。この件については、予測が難しいと、ご理解ください。

●中村委員長

地方交付税については、国も財源が不足し、足りない財源を国と地方で折半する臨時財政対策債という制度として、後から交付税で補うこととしている。このような状況下で、交付税が劇的に増えるという予測は難しいと思います。現状は、なんとか総額規模を維持しているという状態です。また、配分される額は人口などから算出されるため、配分が増えるということも難しいと思います。

それとは別に、交付金という街づくり、地方創生などの政策課題に則ったものがあります。活用できるものは、できるだけ活用してほしいと思います。ただし、庁舎の建設に関して、多くの割合を賄えるというものは、見通しがつきにくいと思います。

●委員

財政状況の棒グラフですが、令和2年度で増えています。扶助費である社会保障等が増えるのは分かるが、人件費が増えているのはなぜですか。なにか理由がありますか。

●事務局

財政状況のグラフにおいて、令和2年度、扶助費が減り、人件費が増えるという状況につきましては、会計年度任用職員制度が始まり、保育所等に多く配置されている職員の給与が扶助費から人件費扱いに変わったということがあります。構成としては、扶助費が減り人件費が増えたように見えますが、義務的経費が増えているという状況に変わりありません。

●委員

建設費に対する財源の資料から、事業への起債充当上限等はないですか。また、起債総額が伸び、実質公債費率が上がり、他事業への起債充当などに問題はないですか。

●事務局

事業への充当から言いますと、制限等はないです。全体枠となりますと、実質公債比率があります。これは18%を超えることはない試算しております。健全化という意味合いからは、問題はないということになります。

●中村委員長

実質公債費率が18%を超えるというのは、大変な状況だと思います。基金の積み立てに代わりとして、公債費として1億円が発生するというイメージで良いですか。

●事務局

現時点の試算はそうなっています。公債費の比率は上がるのですが、基準からは、まだ余裕があるという試算になっています。

●中村委員長

ほかに意見がなければ、ここからは、意見交換とさせていただきます。

本委員会は、本庁舎の整備、位置、機能に関することを議論いただき、取りまとめることとなります。11月の第5回委員会では、本日までのご意見を事務局の方でまとめ、案として作成をし、第6回の委員会で成案したいと思います。この3つの観点につきまして、皆様から順にご意見を伺いたいと思います。3つの観点すべてでも、1点でも構いませんし、視察に関することやご質問でも構いませんので、ご発言をお願いします。

●委員

射水市と黒部市の見学をさせていただき、具体的なイメージが持てました。ありがとうございます。1番の関心は、位置に関するところで、優先順位をつけるとしたら、災害対策です。最近の気象現象等からの災害を踏まえ、資料3の公有地リストで浸水地域を調べてみました。現庁舎の洪水時浸水深は60センチ、国土地理院の地点別浸水シュミレーションから、リストのスポーツ施設、砺波市民総合運動公園が0mでした。また、柳瀬の砺波総合運動公園は1.8m深、庄川生涯学習センターは2.7m深でした。地区により、差があり、できるならば、浸水しない場所が適切だと思いました。

●中村委員長

防災の観点から庁舎の建設をしないといけないと思いますし、視察した庁舎でも防災の対策が工夫されていました。砺波市庁舎でも、とても大切な観点だと思います。

●委員

庁舎にとっては、災害への対策が重要だと思いました。電気設備や情報管理など既に行われているような対策は、取るべきと思います。また、ほかの場所での新設は、魅力的であります、財源を考えると、将来への負担となつてはいけないとも思います。

●中村委員長

防災の視点が大切だというご意見をいただきました。

●委員

一番、関心があるのは位置です。周辺道路の整備などにも関わるので、具体的な位置の案はありません。ただ、財源は厳しいと思いますが、別敷地での建設が良いと思います。

また、視察で気づいたことですが、書類等が多いことに驚きました。データによる管理とするなど、これからの時代に合った方法に変更してほしいと思います。

●中村委員長

機能か、位置か、どちらが先か難しいですが、言われる通り、関連性の深い問題です。ペーパーレスに関しては、公文書という取り扱いがありますので難しいと思います。ただし、執務空間は、ペーパーレスも検討してほしいと思います。

●委員

財政状況などが厳しい状況ですが、将来への優先事項は何かを考えてみました。浸水地域など考えると、この位置で良いのかという疑問を持ちました。また、少子高齢化、人口減少により、更なる市の合併は避けられないと思います。具体的な位置を示すことは難しいが、黒部市のように公有地で進めることが望ましいと思います。例えば、先ほどの意見にあった、砺波市民総合運動場などもあり得ると思います。

タウンミーティングなどで、市民からも意見を確認してほしいです。

●中村委員長

財源の問題も併せて、公有地で考えていくべきだというご意見です。

●委員

射水市庁舎の視察に参加し、公園に隣接しているというのは、良いと思いました。また、公共施設と近接して建設するというのは、イベント等様々な利点があり、市民が利用しやすく、災害時にも多機能に利用できると思います。財源上、厳しいと思いますが、他の公共施設に近接した別敷地が良いと思います。

敷地については、例えば、現庁舎の敷地との交換や、現敷地の売却など具体的に検討し、敷地購入費を少しでも低減する方法を検討してはどうでしょうか。

#### ●委員

黒部市庁舎の視察が参考となりました。市の規模も同程度であり、理想だと思いました。同様な計画とし、設計費の節減としてもよいのではないのでしょうか。立地については、交通の便、将来的な更なる合併のことも踏まえ、鷹栖方面のサンコースーパー砺波店のあたりが良いと思いました。

いろいろな工夫と新しい考え方で位置を検討してはどうかと思いました。

#### ●委員

木造の庁舎が良いと思います。不燃化や構造的にも、鉄筋コンクリートと同様なことができる時代となっています。また、来庁者も変化すると思います。

たとえば、国交省が道の駅を防災に利用する方針もあるときいています。現敷地を、道の駅などの新たな施設にして、新たな敷地の購入を検討してもよいと思います。複式簿記の考え方は、資産となり、バランスシート的には問題がないと思います。

防災対策としては、店舗を備えた道の駅として、市役所とは違うところで防災拠点を準備するという考え方もあると思います。

#### ●委員

新しい場所で新築ということ为前提として、進めていくべきだと思います。現位置で建設するのは、工事期間中の騒音等不具合等を考えると、すべきではないと思います。

また、現在の敷地は国道沿いで交差点近くですが、便利ではない敷地形状です。車の出入りなどの不具合などもあります。財政上の検討は、工夫をしていただき、新たな敷地で進めてほしいと思います。

黒部市庁舎のほうで良いと思ったのは、市民交流スペースが夜まで解放されている点です。新しい場所で、市民交流スペースを設けて、進めていただきたいです。

#### ●委員

射水市庁舎、黒部市庁舎を視察させていただきました。やはり、気象条件等で災害が頻発する中、災害対策をしつかりとしていただき。また、市民へのサービスが大切であり、新庁舎により市民へのサービスの低下が無いよう、財源についても検討いただきたいです。

庁舎とは、病院、消防署とも連携が重要だと思います。位置については十分に検討いただきたいと思います。

#### ●委員

市外のものなので、位置については市民の方にお任せしたいと思います。建物を建てるときに、使いやすく、かつ、防災対策、将来的な維持管理などを考えると、全て新しくするというのが良いと思います。黒部市庁舎の視察について、大きなピロティがあり、災害時に利用できると思いました。

#### ●委員

2か所の視察が大変参考になりました。どちらも、オープンフロアで、入り口から目的までスムーズにたどり着ける工夫がされていて、高齢者にも判りやすい庁舎だと思いました。黒部庁舎

では、夜まで自由に使用できるスペースは魅力的だと思いました。これから少子高齢化、デジタル化が進むと思いますが、長く使い続けることができる持続可能な、市民が身近に感じるような庁舎であってほしいと思いました。

整備については、財源や費用対効果の問題もありますが、将来のことを考えると、持続可能な誰にでも分かりやすい庁舎が良いと思いました。

#### ●委員

射水市庁舎と黒部市庁舎の2か所を視察し、黒部市の方が市民に開かれた庁舎であったと思いました。どちらも市有地があったため、将来負担額が少なかったのだと思いました。砺波市の市有地を利用できないかと考えています。防災マップを見ていますと、総合運動場が良いと思います。土地が足りなくて周辺の土地を買ったとしても、負担は少なくて済むのではないかと思います。黒部市の良いところは、行政機関と市民交流スペースが隣接しながらシャッター等で管理区分され、良いと思いました。

#### ●委員

黒部市庁舎の視察は不参加でしたが、資料を拝見し、ゾーン別の平面が、分かりやすく良いと思いました。また、位置と建物は、人口減少等で財源が厳しいことが一番気になるところです。

しかし、機能的な建物とするためには、新たに建設する方が良いと思います。例えば、現敷地で本庁舎を先に建設し、現庁舎を壊してから市民交流スペースなどを建設するなどという考え方もあるのではないかと思います。

また公有地のリストの中で、これから検討していく中で、具体的な位置を示して、比較していく方が良いのではないかと。個人的には、中村運動公園周辺などが、国道156や国道359とも近く、ほかの公共施設も近いので良いと思います。

具体的な検討を始めることについて、問題は何か、それが検討材料になっていくのではないかと。思います。

もう1点、交通の便が良く、車で敷地へ入りやすく、駐車しやすい、また目的の場所まで行きやすい、開かれた庁舎になってほしいと思います。また、ワンストップサービス、バリアフリーなども取り入れていただけたら良いと思います。

#### ●委員

当初思っていたことについて、少子高齢化の資料を拝見し、厳しい状況などだと思いました。少子化ということは砺波市の財政にも直結しているということも考えていました。

公有地リストを見ながら、建設年が気になり、古い建物の改修や更新なども問題となると思いました。

国や県が、防災に対し、どのように考えていくのか、それも視野に入れた対策もあるのかと思いました。

#### ●中村委員長

多くの皆様が言われたのは、防災機能ということかと思います。砺波市全体の面的な防災を考えていく上で、庁舎の役割を明確にすることが必要だと思いました。

また、黒部市庁舎で視察した市民交流スペースも有効だということ、このような機能を庁舎に持たせるのか、それとも別の施設で持たせるのかということも考えていかななくてはなりません。

庁舎と市民スペースのセキュリティというご意見では、今後、複合多機能ということがあれば検討していかななくてはならないと思いました。

また、黒部市庁舎のピロティや変形敷地の活用なども参考とし、庁舎建設によるサービス低下がないようにというご意見もいただきました。

整備については、現庁舎を耐震改修というご意見はなく、全面的に建設するというご意見が多かったのかなと思います。その際に、財政的にも検討し、将来的な地方の姿を描かなくてはいけないと思いました。

位置については、現敷地にこだわる必要はないという意見が多かったと思います。候補地をいくつかお示ししてご意見をいただくという状況にはなかったので、具体的にご意見いただくという形ではなかったと思います。求められる機能や役割に適する場所がどこなのかを考えていかななくてはならないと思います。これも広く考えるべきで、公有地を考えるか、または、新たな敷地を求めるか、ご意見があったかと思います。新しい土地を購入するには、すぐに手に入るというわけではないので、難しいところもあるかと思います。また、購入した土地は、バランスシート上は資産に計上されるというご意見もありました。ただし、それにより財政の流動性が失われることもあり、経済上の用語で言いますと、財政が硬直化、経常収支比率が高まるということがあり、注意が必要かと思います。

この敷地にこだわる必要はないが、公有地で目配りしていくというご意見かと思います。

今回までのご意見を、第5回の会議でまとめ、ご覧いただくということになると思います。また、追加のご意見もいただくことができるということです。

#### ●財政課長

ありがとうございます。

追加資料としまして、「砺波市庁舎整備に関する意見書」を配布しております。今回の限られた時間の中では、意見がまとめるにいたり、出しにくかったりすることもあるかと思います。会議の終了後も、意見等ありましたら、記入いただき、事務局へ提出いただけたらと思います。なお、返送期限ですが、取りまとめの関係上、8月31日とさせていただきます。

また、次回につきましては、11月17日（水）砺波市役所3階大ホールで予定しています。以上を持ちまして、終了いたします。